

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

当社は、自動車車輛の破碎、選別、加工を行って3Rに取り組んでおります。つまり、仕入れ量が増え、出荷量が増えるということは、それだけ限られた再生資源の有効活用ができていと言えます。当社は、ASR・SRの中に含まれる金属類を徹底的に回収し残渣はセメントメーカーにて燃料代替、固形化燃料として使用することを可能にするASR・SR再資源化プラントを保有する企業です。これは自動車製造業、中古車販売業、公共交通機関を運営する市営、民営企業における間接的なSDGsへの貢献事業であり、これらの日本企業の持続可能性を自動車車輛の再資源化という部分においてサポートするものであると考えております。当社にてお預かりした廃車輛は、ほぼ100%の再資源化を行っており、このことは、地域経済とそこで働く地域住民の生活と経済を支える土台であり、熊本の住み続けられる街づくりに直接貢献できるものと考えます。当社は、事業を通じて成長することが、熊本県におけるSDGsへの具体的貢献と見据え、2030年時点で、自動車廃車輛の再資源化で日本一、世界一の貢献を担う企業として成長致します。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に◎)	SDGsに関する重点的な取組み	指標
◎環境 ○社会 ○経済	SDGs12: 引取車輛の再資源化率	ASRリサイクル率 2020年 99.1% →2023年 99.5%
○環境 ◎社会 ○経済	SDGs11: 産業廃棄物ゼロのクルマ社会	ASR埋立処理委託量 2020年 0t →2023年継続 0t
○環境 ○社会 ◎経済	SDGs8: 当社雇用社員数の増加と一人当たりの生産性の向上	社員一人当たりの生産性 2020年度比で →2023年度 5%向上

<パートナーシップ>

自動車製造メーカーには鉄鋼メーカー、非鉄二次合金メーカー等を通じて再生鉄、再生アルミ、銅、ステンレスなどの原材料を供給しています。自動車販売会社、自動車修理工場、個人、公営・市営公共交通機関、社用車を多数保有する法人等には廃車輛の再資源化におけるSDGs達成にむけた車輛引き取り、回収などのパートナーシップがあります。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。

○ SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係る進捗状況(※更新の場合のみ。)

○登録状況：第 期登録(登録年月日： 年 月 日)
○登録番号： 号

<SDGsに関する重点的な取組み状況、前期の指標及び実績>

三側面 (分野に◎)	取組みの状況	前期の指標	実績
○環境 ○社会 ○経済			

○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			

・「登録状況」及び「登録番号」を記載してください。

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。